

第22回日本感性工学会大会レポート

長沢 伸也*

1. はじめに

横幹連合傘下の有力学会である日本感性工学会(JSKE)は年次大会を秋に東京地域で、また春季大会を地方で毎年開催している。

本レポートでは、2020年9月に「インクルーシブ社会の個と調和」を大会テーマとして開催された第22回日本感性工学会大会の概要を報告する。

2. 大会趣旨

実行委員長を務めた日本感性工学会会長の庄司裕子先生による開催趣旨は以下のものであった。

「近年、サイバー空間と現実社会の高度な融合による経済発展(Society 5.0)の実現に向け、ビジネスイノベーションの連続的創出が強く求められるようになっていきます。2015年9月に採択された国連の『持続可能な開発のための2030アジェンダ』に記載されている国際目標(SDGs)の達成では、新たな企業活動により資金流動を促進するイノベティブなアイデアが必要とされます。このようにビジネスで社会課題を解決する時代を迎え、近年、新たな価値創造の源泉として、個々人の知的活動の多様性への注目が高まっています。

現代の知識社会においては、組織内で『知的活動の多様性』を『知識創造』につなげることが最重要とされてきました。産業界では組織内で知的活動を活性化・高度化し、機能や信頼性の高い商品、サービスを創造して社会に貢献してきたのです。それに対して近年、感性価値をいかに創造するかが重視される感性社会へのシフトが急速に進んでいます。感性価値は、機能や信頼性といった商品価値とは異なる、消費者の「感動」や「共感」を得て顕著化する価値と定義することができます。個々人の生活文脈の中でおこなわれるそれぞれの感性に基づく多種多様な活動の結果であり、その特徴を工学的に解明し新たな需要の喚起につなげるシステムの構築が感性社会の新たな課題とされています。そこで、日本感性工学会22回大会では個々人の知的活動の多様性について感

Table 1: 第22回日本感性工学会大会の概要。

会期	: 2020年9月9日(水)午後~11日(金)
会場	: Cisco Webex Meetingを利用したオンライン開催 (拠点: 中央大学後楽園キャンパス)
実行委員長	: 庄司裕子(中央大学)
大会テーマ	: 「インクルーシブ社会の個と調和」



Fig. 1: 第22回日本感性工学会大会ポスター。

性工学的側面から議論する場になればと思います、このテーマで大会を開催させていただきます。」

3. 大会概要と特徴

第22回日本感性工学会大会の概要をTable 1に、ポスターをFig.1にそれぞれ示す。また、大会次書をTable 2に、プログラムを付表にそれぞれ示す。ちなみに大会ポスターは、学会員であるデザイン系の教員が開催テーマを踏まえて毎回制作している力作である。

総会・表彰式、特別講演2件、一般セッション129件と査読セッション19件の計148件の発表が行われた。

第22回日本感性工学会大会の特徴は、以下の5点で

*早稲田大学ビジネススクール 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
 Received: 19 October 2020.

Table 2: 第 22 回日本感性工学会大会の大会次第.

■ 総会
9月9日(水) 13:00-13:30
■ 表彰式
9月9日(水) 13:30-14:00
出版賞, 論文賞・技術研究賞・事例研究賞, かわいい感性デザイン賞
※優秀発表賞(22回大会発表分)は, 大会終了後に学会HP にてお知らせ
■ 特別講演(2件)
特別講演 I 9月10日(木) 13:00~14:00
「18世紀から21世紀末頃までの技術の歴史の変遷 ー将来予測の中で浮上した「感性」ー」 谷口彬雄氏(信州大学名誉教授 電気通信大学客員教授)
特別講演 II 9月11日(金) 13:00~14:00
「AI時代のクリエイティビティ」 井上裕太氏(KESIKI INC. Partner)
■ 一般セッション(129件)
■ 査読セッション(19件)
■ 企業展示(5件)
■ 参加者 328名

あったと考える.

- (1) 日本感性工学会大会では初のオンライン開催
- (2) 国際会議 KEER との連続開催
- (3) 学会員 1,000 名強に対して参加者 328 名と参加比率が高く, しかも企業会員の参加が多い
- (4) 示唆に富む特別講演
- (5) 一般セッションの企画

これらについて, 以下で述べる.

3.1 日本感性工学会大会では初のオンライン開催

日本感性工学会大会では 2020 年 3 月開催の春季大会で, 信州大学を拠点とするオンライン開催を実施した. 学会としては初のオンライン開催であった. もちろん初めてのことで困難や混乱もあったが, 年次大会に比べれば小規模な大会であったため, 結果としては年次大会初のオンライン開催に弾みがあった.

実行委員長を務めた庄司裕子先生からは, 以下のような感想を頂いた.

全体的な感想として, 困難を覚悟していて, 実際大変だったが, 大きなトラブルなくオンライン大会を開催できて良かったと思っている. 学会活動は毎年おこなっているもので, その動きを止めないことが何より大事だと感じる.

オンライン開催は初の試みなので, 準備は色々大変であった. 中央大学の Webex アカウントを利用したため, 中大のスタッフしかできない作業が多くなり, 特定のスタッフに負荷がかかった. 逆に作業は効率的におこなえて良かった.

現地開催の場合には, 少しくらいミスや変更があっても当日会場に対応できるが, オンライン開催の場合は事

前準備がきちんとできていないと参加者がオンラインで入ってくることができない. 接続テストなどで事前に座長に説明できる場を設けたり, セッションの時間に余裕をとって発表者が接続テストできるようにするなどの工夫は必須だと思った.

開催中は, 音声が出ない人や, 接続が切れた発表者など, 小さなトラブルもあったが, 想定内のことであり, 全てのプログラムを無事終えることができた. しかし, 各セッションがうまく進行しているかどうか, オンラインでは見えないため, 実行委員長としては開催中は常時緊張して過ごしていた. 複数のセッションを行ったり来たりして確認していたため, もっとゆっくり聞きたい内容もあり残念であった.

多くの発表では録画公開が許可されているため, 後で見るとは便利である. この点はオンライン開催のメリットだと思う.

3.2 国際会議 KEER との連続開催

また, 今回の大会は日本感性工学会が主催する国際会議 KEER (Kansei Engineering and Emotion Research) 2020 と連続開催であった.

具体的には, 2020 年 9 月 7 日(月) 午後~9 日(水) 午前が国際会議 KEER2020, 9 日(水) 午後~11 日(金) が第 22 回日本感性工学会大会であった.

いずれも日本感性工学会会長の庄司裕子先生が実行委員長を務めた.

この連続開催は日本感性工学会としても KEER としても初の試みであったが, 国内外の感性工学研究者が集う良い機会になった.

3.3 学会員 1,000 名強に対して参加者 328 名と参加比率が高く, しかも企業会員の参加が多い

日本感性工学会大会は学会員 1,000 名, 大学関係者と企業関係者がほぼ半々という学会である. 産学連携を標榜する学会の中でも, この企業関係者の比率は高い方だと思う.

これまで毎年(対面で)開催されてきた年次大会では, 参加者が 500 名, しかも企業関係者の発表も多く, 参加者も半数を占めているのが, 日本感性工学会の特徴になっている.

実行委員長を務めた庄司裕子先生は, オンライン開催に決めた時点で, 参加者や発表数が少なくなるのは覚悟したという. 実際, 発表件数は例年の半分, 参加者は例年の 6 割程度だった. しかし, それでも 300 名を超える参加者で, 予想したよりは多くの方にご参加頂けて嬉しく思っている.

集計が終わっていないので正確には分からないが, 例年同様, 企業関係者が半数程度であったと思われる.

採算ラインもなんとかクリアしたのではないかと予想される.

3.4 示唆に富む特別講演

特別講演が2件あったが、どちらも示唆に富む内容であった。

特別講演Ⅰは谷口彬雄氏（信州大学名誉教授、電気通信大学客員教授）が「18世紀から21世紀末頃までの技術の歴史の変遷－将来予測の中で浮上した「感性」－」を講演した。

同氏は、「現在、「データ」を軸に産業の大幅な転換が起きている。AIを導入し、発展させる場合において、次の軸である「感性」を考慮し、人類との調和を念頭に置き開発を進めなければならない。改めて、感性工学についての議論をはじめなければならない」という。

イノベーションの視点からすると、感性が重要になる。AIは内挿が得意であっても内挿しかできない。これに対して、イノベーションとは意外性が必要であり、これは外挿になる。すると、「意外性を積極的に取り込む感性」が重要になる。そして、感性価値の創出による新たなイノベーションが望まれるという趣旨であると理解した。

感性工学研究に集う学会員には力強い考え方が提供された。

特別講演Ⅱは、井上裕太氏（KESIKI INC. Partner）による「AI時代のクリエイティビティ」であった。

同氏は、「AI時代のクリエイティビティとは、ビジネス、テクノロジー、デザインとクリエイティビティの融合の重要性。見立て、わびさび、金継ぎ...日本文化ならではのクリエイティビティの方向性。10年以上にわたり事業開発、スタートアップ支援、デザインの世界で走り回ってきた視点から、伝統と文化の都・京都に住む個人としての見立てをシェアさせて頂ければ」とのことであった。

ダイソンの創業社長ジェームズ・ダイソンは、クリエイティビティ豊かな起業家と言われることが多い。確かに、吸引力の強い掃除機を開発するのに5,127回めの試作機で遂に完成させた。しかし、真に重要なことは、5,127回という挑戦は、5,126回の失敗の後に訪れていることである。失敗のない挑戦はない。努力を続け失敗を乗り越えて挑戦し続けなければイノベーションも成功もない、と勇気づけられ感銘を受けた。

3.5 一般セッションの企画

日本感性工学会大会では、これまで例年は「企画セッション」を開催してきた。これに対して、第22回日本感性工学会大会では、「一般セッションの企画」が行われた。これを **Table 3** に示す。

「従来の企画セッションとどう違うのか？」と筆者も当初は疑問に思った。しかし、実際のプログラムを見て納得した。

Table 3: 一般セッションの企画。

代表者	セッションのキーワード	日程
大倉典子	かわいい	9/10 (木) 午前
宝珍輝尚	ポジティブ・コンピューティング	9/10 (木) 午後
石橋 賢	而立の会+志学の会	9/10 (木) 午後
柳澤秀吉	感性モデリング	9/11 (金) 午前
山岡俊樹	ヒューマンデザインテクノロジー	9/10 (木) 午後
高田知紀	合意形成	9/10 (木) 午前
長沢伸也	感性商品	9/11 (金) 午後

Table 4: 「感性商品/ブランド戦略」セッション。

16:15 ~ 18:00 A 会場

【一般セッション】

[3A11-15] 感性商品 / ブランド戦略

座長: 長沢 伸也(早稲田大学)

16:20 ~ 16:40

[3A11-15-01]

企業ロゴにおけるグローバル企業のローカル展開

*山下 利之¹、Dumdin Dulguun¹、Eibo Ahmad¹、工藤 芳彰²、
笠松 慶子¹ (1. 東京都立大学、2. 拓殖大学)

16:40 ~ 17:00

[3A11-15-02]

グローバルなクリエイティブ人材と新興ラグジュアリーファッションブランド

*甲斐 咲帆¹、渡辺 萌乃¹、三浦 爾子²、古川 貴雄¹
(1. 共立女子大学、2. 鎌倉女子大学)

17:00 ~ 17:20

[3A11-15-03]

カルティエ 最強のブランド創造経営

*長沢 伸也¹ (1. 早稲田大学ビジネススクール)

17:20 ~ 17:40

[3A11-15-04]

リシュモン傘下ブランド群のブランド戦略

*長沢 伸也¹ (1. 早稲田大学ビジネススクール)

17:40 ~ 18:00

[3A11-15-05]

ブランドの認知感染モデルに関する基礎的考察

*小山 雅明¹、高橋 由樹¹ (1. アイワ広告株式会社)

例として、筆者が企画した「感性商品/ブランド戦略」セッションを **Table 4** に示す。

発表5件のうち、4件は筆者が主宰する「感性商品研究部会」の部会員による発表であったが、最後の1件は、広告会社所属の企業会員による発表であった。

従来の企画セッションでは、感性商品研究部会の部会員だけで発表を固めてセッションを申請・開催していた。これに対し、「一般セッションの企画」では、部会員（研究部会を主たる所属部会として登録している学会員）ではない学会員が、キーワードを見てセッションに応募するか、または振り分けられるという仕組みであった。

研究部会の部会員だけで発表を固めるより幅が広がるのは利点である。当該発表者は非部会員であったので、部会への勧誘を行ったのは言うまでもない。

4. おわりに

以上、2020年9月に「インクルーシブ社会の個と調和」を大会テーマとして開催された第22回日本感性工

学会大会の概要を報告した。また、その特徴を述べた。横幹連合会員諸氏の日本感性工学会（JSKE）に対する理解が深まり、かつ、大会開催のノウハウを共有できる橋頭堡となれば幸甚である。

付表：第22回日本感性工学会大会プログラム

○2020年9月9日(水)

12:55～14:00 A会場
【表彰式・閉会式】
[1A-1255] 総会・表彰式
座長：庄司裕子(中央大学)
14:15～16:00 A会場
【査読セッション】
[1A01-04] 査読セッション(計測)
座長：浅野 晃(関西大学)
14:15～16:00 B会場
【一般セッション】
[1B01-02] かわいい
座長：大倉典子(芝浦工業大学)
14:15～16:00 C会場
【一般セッション】
[1C01-05] 脳科学
座長：福本 誠(福岡工業大学)
14:15～16:00 D会場
【一般セッション】
[1D01-05] 計測・評価(皮膚)
座長：櫻井将人(静岡理科大学)
16:15～18:00 B会場
【一般セッション】
[1B03-07] コミュニケーション
座長：齊藤史哲(千葉工業大学)
16:15～18:00 C会場
【一般セッション】
[1C06-10] テキスト・フォント
座長：井ノ上寛人(東京電機大学)
16:15～18:00 D会場
【一般セッション】
[1D06-10] 計測・評価(布地)
座長：金 晃屋(信州大学)

○2020年9月10日(木)

09:55～11:40 A会場
【査読セッション】
[2A01-04] 査読セッション(分析)
座長：長谷川 良平(産業技術総合研究所)
09:55～11:40 B会場
【一般セッション】
[2B01-05] デザイン
座長：橋田規子(芝浦工業大学)
09:55～11:20 C会場
【一般セッション】
[2C01-04] 合意形成
座長：高田知紀(兵庫県立大学自然・環境科学研究所)
09:55～11:40 D会場
【一般セッション】
[2D01-05] 計測・評価(生体)
座長：高寺政行(信州大学)
12:55～14:00 A会場
【特別講演】
[2A-1255] 特別講演 I
18世紀から21世紀末頃までの技術の歴史の変遷－将来予測の中で浮上した「感性」－
谷口彬雄氏(信州大学名誉教授、電気通信大学客員教授)
座長：上條正義(信州大学)
14:15～16:00 B会場
【一般セッション】
[2B06-10] 生体(志学・而立)
座長：石橋 賢(熊本県立大学)
14:15～16:00 C会場
【一般セッション】
[2C05-09] ポジティブコンピューティング
座長：宝珍 輝尚(京都工芸繊維大学)
14:15～16:00 D会場
【一般セッション】
[2D06-10] 計測・評価(印象)
座長：姜 南圭(はこだて未来大学)

16:15～18:00 B会場
【一般セッション】
[2B11-15] インタラクティブ/生体(志学・而立)
座長：浜田百合(中央大学)
16:15～17:20 C会場
【一般セッション】
[2C10-12] 読書
座長：布川博士(岩手県立大学)
16:15～18:00 D会場
【一般セッション】
[2D11-15] ヒューマンデザイン
座長：山岡俊樹(京都女子大学)

○2020年9月11日(金)

09:55～11:40 A会場
【一般セッション】
[3A01-05] 感性モデリング
座長：柳澤秀吉(東京大学)、村松慶一(埼玉大学)
09:55～11:40 B会場
【一般セッション】
[3B01-05] デザイン(音、環境)
座長：秋田直繁(九州大学)
09:55～11:40 C会場
【一般セッション】
[3C01-05] 視覚
座長：阿山みよし(宇都宮大学オブティクス教育研究センター)
09:55～11:40 D会場
【一般セッション】
[3D01-05] 脳・音
座長：上條正義(信州大学)
12:55～14:00 A会場
【特別講演】
[3A-1255] 特別講演 II
AI時代のクリエイティブ
井上裕太氏(KESIKI INC. Partner)
座長：福本 誠(福岡工業大学)
14:15～16:00 A会場
【一般セッション】
[3A06-10] ゲーム・マルチメディア
座長：竹之内 宏(福岡工業大学)
14:15～16:00 B会場
【一般セッション】
[3B06-10] デザイン
座長：平田一郎(兵庫県立工業技術センター)
14:15～16:00 C会場
【一般セッション】
[3C06-10] ファッション
座長：宮武恵子(共立女子大学)
14:15～16:00 D会場
【一般セッション】
[3D06-10] 計測・評価
座長：大西 敏(広島国際大学)
16:15～18:00 A会場
【一般セッション】
[3A11-15] 感性商品/ブランド戦略
座長：長沢伸也(早稲田大学)
16:15～18:00 B会場
【一般セッション】
[3B11-15] デザイン(コミュニケーション)
座長：加藤健郎(慶應義塾大学)
16:15～18:00 C会場
【一般セッション】
[3C11-15] ロボティクス
座長：坂本 隆(産業技術総合研究所)
16:15～18:00 D会場
【一般セッション】
[3D11-15] 生理・食
座長：吉田宏昭(信州大学)